

議事録

項目	第9回 水前寺江津湖公園利活用・保全推進協議会
日時	令和6年(2024年)2月8日(木) 14:00~
場所	熊本市動植物園 緑の相談所 2階会議室
出席者 (敬称略)	<p>学校法人 東海大学 名誉教授 市川 勉(会長) 熊本大学大学院 くまもと水循環・減災研究教育センター 教授 星野 裕司(副会長) 熊本大学大学院 先端科学研究部(工学系) 准教授 皆川 朋子 筑波大学 芸術系 教授 藤田 直子(欠席) 公益財団法人 熊本市美術文化振興財団 理事 葉山 耕司 公益財団法人 地方経済総合研究所 常務理事 中本 秀二 キリンビール株式会社 九州統括本部 南部九州支社 熊本支店 支店長 糸島 稔和(欠席) 株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング シニアマネージャー 若松 隆一(欠席) 熊本県ローイング協会 会長 内藤 稔 協業組合江津湖観光 マネージャー 江藤 啓貴 江津湖貸舟協同組合 理事 川上 二矢 熊本県立図書館 館長 吉永 明彦(欠席) 一般社団法人 熊本市造園建設業協会 会長 吉村 昌洋 一般財団法人熊本市文化スポーツ財団 理事長 中村 英文 水前寺江津湖公園愛護会 会長 大塚 正法 水前寺江津湖(体育館跡)公園愛護会 会長 松尾 直樹 水前寺江津湖(児童)公園愛護会 会長 小崎 正道 出水校区自治協議会 会長 榮田 晶夫 砂取校区自治協議会 会長 今井 英雄 出水南校区自治協議会 会長 前田 文徳(欠席) 健軍校区自治協議会 会長 佐藤 虔二 画図校区自治協議会 会長 西堀 豊(欠席) 泉ヶ丘校区自治協議会 会長 永田 俊洋 若葉校区自治協議会 会長 荒木 栄三(欠席) 秋津校区自治協議会 会長 工藤 修一 水前寺活性化プロジェクトチーム 代表 永野 陽子</p>

熊本市子育て支援ネットワーク連絡会
 副会長 西原 明優
 熊本県文化協会
 副会長 原 幸代子 (欠席)
 熊本記念植物採集会
 会長 奥村 智治
 熊本野生生物研究会
 事務局企画担当 歌岡 宏信
 自然観察指導員熊本県連絡会
 事務局長 田畑 清霧
 日本野鳥の会熊本県支部
 事務局長 原口 研治

関係課・熊本県

<計画概要説明>

(1) 水前寺江津湖公園利活用・保全計画について 資料1

<議題>

(1) 各施策事業の実施状況について 資料2

<報告事項>

- 1) こども図書館の整備について 資料3
- 2) ON THE PARK 官民連携事業内容の変更について 資料4
- 3) 水前寺江津湖公園(広木地区)におけるPark-PFIの導入検討について 資料5
- 4) 水前寺江津湖公園の照明施設改修について 資料6
- 5) Ezukoナビ(Webガイドシステム)の供用開始について 資料7
- 6) 水前寺江津湖公園の外来植物調査について 資料8
- 7) 希少生物の調査について 資料9
- 8) シェーンズ邸開館について 資料10
- 9) くまもと花博2023実施報告について 資料11

【議事録】

【熊本市説明】

～(水前寺江津湖公園利活用・保全計画)の概要説明～

～(議題)各施策事業の実施状況について説明～

●資料2 ①—1—1について、江津湖の水量は減ったということなのでしょうか。江津湖の湧水量が減っているということは大きな問題であるため伺いました。(葉山委員)

●これは、私から答えます。資料の水量は、地下水財団が独自に行っている大津町牧地区の水田地帯での湛水事業や市民が水田を借りて田植えをしてお米を作る事業で見積もられた涵養量で、熊本地域全体での地下水涵養量のことではありません。湛水事

業の計画が令和4年度時点で約2300万トンだったのが、実際は1830万トンになっているということでございます。

資料の上の方の湧水量については、地下水財団が独自に毎月一回、江津湖の全湧水量を測定しています。概要ですが現在一日の湧水量が今現在は60万トン程度あり、増えていますが、原因はまだ分かっておらず、現在解析中です。解析が終わり次第公開いたします。（市川会長）

- 前の会議で話題になったのでお尋ねしました。水質はいかがでしょうか。（葉山委員）
- 水質についてはモニタリングをしていて、あまり大きな変化はありません。（市川会長）
- 水保全課からお答えします。江津斎藤橋や秋津橋を調査地点として、主に3ヶ月に1回程度測定していますが、特に悪化している等の変化はありません。（水保全課）
- わかりました。（葉山委員）
- 以前、東海大学のほうで整備された上江津湖のフェンスで囲った箇所（天然記念物のスイゼンシノリ自生地）があると思うが、江津湖に住んで30年になるが、以前に比べてかなり茂ってきています。こういった管理をされているのか、また誰が管理をしているのでしょうか。草取りがあるならば、協力について検討できる。ゾウさんプールの清掃がありました。水草が茂っている。子供は足に絡むので、改修するなら、水草を取らないと入れないと思います。スイゼンシノリと同時に水前寺もやしも栽培されている方もいらっしゃいます。高齢で栽培をやめることも考えておられる。せっかく熊本の伝統の水前寺もやしだから、継承できないかと考えています。（大塚委員）
- フェンスの中につきましては、定期清掃として夏場を中心におよそ3ヶ月に一回のペースで清掃は行っていますが、特別保護区としてフェンスで囲った中の水前寺のりの保全区域のようなブロックを組んだ中を中心に清掃を行っていて、フェンスの奥側については点検などはしていないのが現状であります。（文化財課）
- ゾウさんプールについては、基本的に指定管理者で管理していますが、ヘドロを取るところまではできていない状況です。令和4年度に市長も参加して清掃をしており、職員もやっていますが、職員だけでも難しいのでボランティアの皆さんの力をお借りしながら継続していきたいと考えています。
水前寺もやしについては、現在の状況を把握していないので、まずは状況を把握したいと思います。（みどり政策課）

- 資料ひとつめの2ページにゾーニングとありますが、全てが保全エリアで、あと利活用と再生ということで以前、色々検討を練っていただいてゾーニングが決まっている状況だと思いますが、保全していく中で例えば広木地区を見ると再生エリアと書いてありますが、見ると年々ヨシ（アシ）原の厚みが薄くなっています。
ここだけではないが、江津湖は全体的に見通しがよくなってきている、人間が鳥を見るには見やすくなっている面があると思うが、生き物の側からすると落ち着く場所がない、繁殖できる場所もないということになり、見やすくしているうちに見る相手がいなくなるという状況になっているのではないかと心配しています。
例えばヨシ原の、人が利用するエリアと、ここは残すというエリアの草の管理につきまして、作業される方々、チェックされる方々の調整はどうなっているのでしょうか。（田畑委員）
- 保全エリアの管理については計画どおり、指定管理者と連携をとりながら保全エリアには極力手を入れないように、共通認識を持って管理しています。ヨシについては湖が見やすいよう剪定してほしいという要望もありますが、その辺は計画に位置づけてあるとおり、保全する観点から難しいとお答えもさせていただきながら進めております。（東区土木センター）
- スイゼンジノリ発祥地の件ですが、前回会議の時も質問して持ち帰るということでしたが、県管理から市になって雑草除去や水質調査をしているようですが、ここは10年間スイゼンジノリがない状態であります。今後、スイゼンジノリを戻すのか、現状維持のまま管理されるのか、どうされるつもりでしょうか。
（西原委員）
- 当該地は、国指定の天然記念物になっており、モニタリングを続けている状態です。将来的にスイゼンジノリが自生する環境を整え、また自生するのを目指すというのは間違いありません。どういうやり方があるのかということは以前から文化庁と協議中です。結論は出ていないが、引き続きどういうやり方がよいかということを経済文化庁と連絡を密にしながらやっていくところでございます。今答えられるのは以上になります（文化財課）
- 昔の地図には野鳥の森と表示されている土地が、今は個人の土地だからしょうがないのですが、木がかなり伐採されて、今後もその方向に行くかと思えます。
江津湖には色々な特徴ある鳥がたくさんいますが、私たちもそれを保全するのは大事だと思いますが、その辺の緑化率とかはどのように考えているのでしょうか。
また、皆様ご存じのとおり、隣の400坪は中国の人が買っていったと、水に関係のある会社が買っているというのはニュースでありましたが、今後いろんな個人の土地を、湧水豊富なこの地域を中国の人が買っているというのを簡単に、仕方がないで終わるのか、今後水を守るために、熊本市がどのような条例とかで整備していくのか、

非常に気になるところであります。（永野委員）

- 今委員が言われたのは、公園に隣接する民有地の件だと思いますが、この計画は公園区域に関することですので、詳しい話は控えさせていただきたいと考えております。ただ、ご関心もおありだと思いますので概略でご説明します。
先ほど緑被率という話がありましたが、風致地区にかかっているので20%を確保することになっております。今後の緑地保全の考え方ですが、民有地については風致地区や環境保護地区のような制度を活用して保全するということを考えています。また、建築の際は緑化協議も行っており、地権者さんの方に緑化について協議をさせていただくことで緑地保全を図っていきたいと考えております。（みどり政策課）
- 今話題になっているPFASの検査をされていますか。されているとしたら、検出されたのかされていないのか、教えてください。（永田委員）
- 江津湖については、特に検査は行っていません。今現在検出された地区の周辺や、市内で井戸をお持ちの方で検査を希望された方、主要な河川については以前から県が環境基準点を指定しており、そこでは検査をしています。江津湖については、主要な河川加勢川につきましては、秋津橋が測定地点になっており、有機フッ素化合物の調査を令和4、5年度も測定し、今後も年1回測定する予定となっております。（水保全課）
- 動植物園の周辺をよく散歩するが、ソウ舎の前辺りは土砂で埋まってしまっている。広木地区のほうでは鳥も泳げないような状態になっている。浚渫計画があれば教えてください。（佐藤委員）
- 加勢川である江津湖に関して、現在除草等を実施しているところでありますが、浚渫に関しては状況をみながら必要に応じて検討していくこととします。（河川課）
- 本日の議題であります、令和5年度も終わりに差し掛かっている中で令和4年度の実施状況の報告となっており、議題が曖昧かと思えます。令和4、5年度の内容と、令和6年度の計画まで話すのが本来の形ではないでしょうか。何について意見を述べればいいのか少しわからないところもあるため、もう少し明瞭にさせていただきたい。進捗状況であれば、図や水質や浚渫の話など色々あったが、例えば、観光ガイドの問題であれば海外からどの程度観光客が来ているのか等があれば、有意義な会議になったのではないかと思います。これはコメントです。
これは、質問ですが、生物調査の結果については公表するのでしょうか。過去からの調査の情報もいただくと現在の状況が見えてくるため、検討してほしいと思います。（皆川委員）
- まず、本会議の趣旨はPDCAのC（チェック）をすることでありまして、実施状況

の進捗を図ることと、その中でどのように改善等やっていくべき等の、ご意見をいただくことであります。前後の年度の記載など、会議の資料につきましては、いただいたご意見を踏まえて、来年度以降、検討したいと思います。（みどり政策課）

- 生き物の調査結果等の公表につきましては、毎年外来魚や外来植物、希少種の調査は熊本市のHPに公表しておりますが、過去の推移との比較やまとめまでは出来てない状況なので、いったん持ち帰って検討したいと思います。（環境政策課）
- HP上だと概要版しかない可能性が高いため、希少種など公表できないデータ以外は、可能な限り生データを公表していただくと現状の把握や保全に繋がるかと思えます。分析までは望んでいないので報告書等もPDFでオープンにしていただけるとありがたいです。（皆川委員）
- 野鳥の森については今年の9月に熊本市議会で近隣の方から出された「再生と保全を求める請願」が全会一致で可決されています。個人の所有であっても江津湖の一部であるということで、市民も気になっています。このような市議会の決議に対して、執行部がどのような対応を考えているのかご存じであれば教えていただきたいです。（原口委員）
- 請願が採択されたということは重く受け止めています。現在、風致地区の指定により緑地の保全、風致の維持を図っているところではありますが、今後どのようにしていけば自然環境を守っていけるかについては、現在、調査・検討を行っているところです。請願の趣旨にある緑地を守る取組については、しっかりと取り組んでいきます。（みどり政策課）
- この会議は江津湖に対して非常に興味をお持ちの皆様が集まっている会議であるため、この場で開発の話が議論されなかったことは気になりますし、せめて状況は共有していただきたいと考えています。というのは、次回開催がいつか分かりませんが、そのときにすでに終わってしまった（開発されてしまった）などとなればなんのための会議なのかわからないため、お願いしたいと思います。（原口委員）
- 野鳥の森については民有地であり、一個人の事業の話あるため、お話しできる場所とできないところがございます。この会議で議論するという事は難しいと考えています。当協議会では情報提供ということになると考えております。（みどり政策課）
- 時間の関係もあるため、報告事項の報告をお願いします。（市川会長）

【関係課説明】

～報告事項1～5まで説明～

- いままでの報告事項の説明で質問等はございますか。（市川会長）
- 水前寺児童公園をきれいにさせていただいてありがとうございます。
公園利用の子どもたちの親から、公園内に時計を設置してほしいとの要望があります。子供たちに何時までに帰ってくるよう伝えても、スマホを持っていない子供たちは時計がないからわかりません。シェーンズ邸前にあるような時計を設置していただくとありがたいです。（小崎委員）
- 時計を街灯に取り付けるのは少額では困難なのでしょうか。（市川会長）
- いまの要望については、照明灯に取り付けるのかなども含めて、まずは現地を確認させていただきたいと思います。（東区土木センター）
- 大曲の市の駐車場にもお願いしたい。（大塚委員）
- こども図書館に対して、ありがたい施設ができるなあと思うのですが、今回の計画については次第をみると4-3-1環境学習の実施に位置づけられています。環境学習の実施については運営の体制が現状どのような議論になっているのでしょうか。運営を地域の人々とどうするのかなどを教えていただきたいです。（星野副会長）
- 運営について、まずは県の直営で行うこととなっています。他の都市では自治体（市）への指定管理となっているところが多いのですが、今回は県立図書館等と一体となった施設のため、直営としてやっていくこととなっております。豊かな環境の中にあるため、自然観察体験等、単に本を読むだけでなく、子供たちに豊かな自然を学習材料として提供させていただいてその中で学んでいただくなどの企画を考えていきたいと思っています。そのためには、この協議会の皆様のお知恵もいただきながら進めていきたいと考えています。中身についてはこれから議論していきたい。（熊本県）
- こども図書館について外の活動についてお話があったが、動線やアクセスなども考慮していただきたいと思いました。蔵書について、美術とか建築のほかにも水や生物に関連したコーナーなども入れていただきたいと思いました。
資料4の官民連携事業（ON THE PARK）の縮小についての質問ですが、実際はイベント側からの要望があったからなのか、採算的などところで変更になっているのか中身について補足いただければと思います。（皆川委員）
- 資料4のON THE PARKについては、事業者様の都合での変更というところがございますが、採算的などところもあったかとは思いますが、イベントがバッティングするからということが理由ではございません。（みどり政策課）

●資料7の Web ガイドシステムについて期待しています。その中で、既存のフェイスブック（3-1 国際観光重点地域の取組、多言語化、情報発信の取組）との連携をどのようにお考えになられているのかと、周知方法についてどのようにこのシステムが利用できるのか、現地に行かないと見れないのか、また目標の利用者数についてお尋ねしたいと思います。（中本委員）

●フェイスブックについては、フェイスブックやHPなど色々な主体でされていますが、連携して、そちらのページにも飛ぶことができるような形で考えています。江津湖の色々な施設の紹介の入口となるような位置付けで考えています。周知方法については、公園の主要な施設の入口部分にサインを設置してQRコードから入っていただくことを一つ考えていますが、HPやチラシ、パンフレットでの事前の周知も検討している。目標の利用者数については、いまのところ想定出来ていませんが、利用し始めて以降の利用者数等も含めて、システムの中身の改変等も考えていきたいと思っています。（花とみどり協働課）

●資料6であります。照明灯のLED化で、夜の利用が増えると思いますが、よく目にするのが車で来て締め出さされてしまったという方が非常に多く、市役所の守衛室まで鍵を取りにいくということがある。利用時間が書いてあると思うが、もう少し利用者に対して見やすく、また来たいと思うような看板にしていきたい。また、市は、車が残っていることについて把握されている方はいらっしゃるのでしょうか。（江藤委員）

●駐車場の利用時間については、市のHPなどで周知をしているところですが、その時間を認識されておらず、車が夜中も残っていることは指定管理者の中に警備会社も入っていますので、認識はしているところですが。その際に、閉める前に警備会社の方で、状況を確認し来られるのを待ったりとかして対応しているが、同じ車が停まっていることもあるため、注意等を促しながら改善していきたいと思います。時間等のわかりにくい表示については、現地等も確認しながら検討していきたいと思っています。（東区土木センター）

【関係課説明】

～報告事項6～9まで説明～

●説明が終わりましたので、ご質問等があればお願いします。（市川会長）

●外来植物や希少生物についての調査については進められているのはわかりましたが、

江津湖に普通に生息する生物たちについて、どのような種類がいて、どのような場所をどのように利用しているのかといった調査は行われているのかということをお聞きしたいと思います。なぜならば、その前の資料などで、いま江津湖でどこにでも人が歩いていけるように整備が進み、昼も夜も人が歩き回れるよう照明灯の改修が行われ、資料5右下の図は湖の中まで道が作られ、図書館も素晴らしいとは思いますが、裏の下の部分は結構静かで生き物たちが隠れて過ごす大事な空間です。そのような場所をどの程度利用しているのか、利用をある程度制限をかけた方がよいのかということを引きちんとするためには、普通種が江津湖をどの程度利用しているのか、どの程度の時間帯にどこを使っているのかという調査は必ず必要ではないかと思っておりますので、そのあたりの調査が行われているのか、または予定があるのか、そのようなことをこのような企画に反映させるルートがあるのかをお尋ねしたいと思います。（田畑委員）

- 江津湖の普通種の調査につきましては、魚類については外来種以外にも在来種がどの地点にどの時期、こういった魚類がいるのかという調査を年に4回実施しております。しかし、魚類以外の哺乳類、鳥類などの生き物については、調査が出来ていない状況でございます。今までも普通種の調査については目が向けることができていなかったため、今後検討していきたいと思っております。（環境政策課）
- 生き物の調査をずっとやっている中で、すぐそこに金峰山が見えていますけども、今年になってアライグマが何回も目撃されております。環境政策課でも捕獲をされていたと思いますが、街なかにも出てきており、熊が街なかに出て騒ぎになるのと同じ状態で、熊本市はアライグマが街なかに出て騒ぎになると予測しています。江津湖は土壌も豊かな自然を持っているため危惧しています。いまはまだ公の情報はありませんが、赤外線センサーのカメラを何か所か設置するなど、モニタリングポイントを作っておいて、年に1回か2回点検するなどを江津湖でもやっていただければと思います。（歌岡委員）
- おっしゃるとおり、江津湖の方でも民家にて数年前に捕獲の実績がありますので、環境政策課でも江津湖に関しては注意しているところであります。ご提案の定期的なモニタリングというところも、次年度以降の事業として出来るところがあるかどうか課内で検討させていただきます。貴重なご意見ありがとうございます（環境政策課）
- ジェーンズ邸の開館で、環境整備もされていますが、是非トイレの洋式化をお願いします。来館者も多くなって嬉しいと思っています。それから、土木センターにお願いがあります。私達は電車通りの両側の藻器堀川を清掃していますが、手が届かないところに葦が茂っています。せつかく清掃してもきれいに見えないので、あのあたりもきれいにしていただきたいです。（永野委員）
- 先ほどのトイレの洋式化や藻器堀川の除草の件については、まずは現地調査をさせて

いただいて検討させていただきたいと思います。（東区土木センター）

- その他、会議全体についてご意見、ご質問ございましたらお願いします。（市川会長）
- 会議が久しぶりであったということはあるとは思いますが、先ほどこの会議の趣旨はチェックであると同いしましたが、少しチェックにはなっていないという気はしました。つまり、調査しましたとだけいわれてもチェックのしようがなく、その結果どうだったとか、それに対してこのように改善しようとしているというのがなければ、基本的には承諾するのみか、普段の不満を言うかの場になってしまうので、是非チェックの場として機能するように、資料作りや部会を開催してから協議会を開催するなど、やり方等も検討していただけたらと思います。また、前半で議論となっていた野鳥の森についてですが、事務局がいわれるように、一宅地に対してその是非を問うようなことはできないと思いますが、公園区域内だけでなく、その周辺も含めて議論しないと水環境であるとか、自然が守れないのではないかという議論ですので、それについては議論できるのではないかと思います。もっと都市計画と連携させて、いまの風致地区だけでいいのか、他のルールも被せないといけないのかなど、是非そういった問題提起として受け止めていただきたいと思います。後半は希望ですが。（星野副会長）
- ご指摘ありがとうございます。資料の内容や部会の開催につきましては、来年度以降検討させていただきます。野鳥の森につきましては、環境審議会などで議論する方向で考えておりますので、当協議会では情報提供ということになると考えております。（みどり政策課）
- 私も資料につきましては、星野副会長と同じような考えを持っております。その場で口頭で言われてもわからないので、是非資料として、次回以降提示していただきたいと思います。その他ご意見、ご質問はございますでしょうか。（市川会長）
- 東区土木センターにお願いがございますが、前回の協議会でも話しましたが、上江津湖を回る際に1時間以上かかってしまう。ソウさんプールの前のからえとうボートさんの上ぐらいに、京都の嵐山のような丸い飛び石を置いていただければと思います。（大塚委員）
- アイデアとしては、昔からある沈み橋や潜り橋など、増水したときには川の中に入り、普段は渡れるという簡単な橋がありますが、そういった橋があれば便利かと思いません。（市川会長）
- 人の動線、人の利用がだいぶ進みすぎている気がしております。生き物の存在場所、生き物の動線、このバランスを検討するという事は、この会議では大事なことで

ないかと思えます。会議があっといううちに、人の利用が進みすぎているような気がしますので、そのあたりの調節、ゾーニングの検討をよろしくお願いします。（田畑委員）

- その他ご意見はよろしかったでしょうか。それでは、たくさんのご意見、ご要望、指摘事項等ありましたが、よろしくご対応お願いしたいと思います。（市川会長）

以上